

中国・歴史文化名街10街区

素材研究
(特別編)

活用したい中国旅行新時代の観光素材 歴史的町並みを保護し多様な魅力引き出す

100万票を超える投票で 10街区を選定

中国では、国家文物局と文化省の機関誌『中国文化報』が2008年から、国内の約200街区の状況を調査して歴史文化街区保護への理解と協力を呼びかけるキャンペーンを開始すると同時に、保護すべき街区を一般に募って、100万票を超える投票の中から「中国歴史文化名街」として10の街区が選定されました。



ハルビン・中央大街(黒竜江省)
「芸術回廊」とも称され、歴史的名建築が軒を連ねます。写真は旧モルデンホテル。



ハルビン・中央大街(黒竜江省)
ロシア統治時代の街並みが残り、まさに「東洋のパリ」を感じさせてくれます

後世に残すべき町並みや歴史的景観

選定に当たっては、(1)歴史的に重要な影響を与えたり、重要な歴史的事件が起きたりした場所であること、(2)文化的特徴も豊かで、現在まで伝承されていること、(3)文物や旧跡、歴史的遺構が残されており、一定の規模で伝統的な町並みや歴史的景観が良好に保存されていること、(4)当該街区が繁栄した当時の社会的機能や経済文化面での活力を維持していること、などの基準をクリアしているかどうかのポイントとなっています。

その結果、「中国歴史文化名街」として選定されたのが、北京市の国子監街、山西省平遙県の南大街、黒竜江省ハルビンの中央大街、江蘇省蘇州市の平江路、安徽省黄山市の屯溪老街、福建省福州市の三坊七巷、山東省青島市の八大関、山東省青州市の昭徳古街、海南省海口市の騎楼老街、チベット自治区ラサ市の八廓街の10街区です。

こうした「中国歴史文化名街」選定の背景には、中国経済の成長に伴って国内旅行市場の拡大や成熟が進み、旅行文化の進展によって「後世に残すべき町並みや歴史的景観」への意識が高まったことがあると見られています。

急速に発展した都市部の近代化は、中国の古い町並みを大きく変貌させることになり、日本人旅行者の間でも「近代化された中国の都市は何処へ行っても同じ」という印象を強める結果も招いてきました。が、「中国歴史文化名街」選定の動きは、そうした印象を払拭する役割も果たすことになりそうです。

中国経済の発展と中間層の増加は、訪日インバウンド市場における中国人旅行者や旅行消費の拡大というメリットをもたらしていますが、同時に、日本のアウトバウンド市場にとっても、「中国歴史文化名街」という形で、デスティネーションとしての中国の多様な魅力を引き出し、旅行商品の付加価値向上につながる可能性を高めていると言えるかもしれません。

中国国家観光局駐日本代表の羅玉泉首席代表は、今



蘇州・平江路(江蘇省)
運河沿いには古民居を改装したカフェも多く、のんびりとしたひと時が楽しめます



北京・国子監街(北京直轄市)
元代の13世紀初頭に建てられた最高学府などが置かれ、約700年間に及び伝統文化の粋を体現

年3月に開催された「中国旅行復活緊急フォーラム」で、政府が認定する5つ星評価の「国家5A登録」の観光資源も2014年現在で186カ所に及んでいることを明らかにして、「都市や農村部、田舎にいたるまで、中国の国内旅行者だけでなく、外国人旅行者も視野に入れた受入体制作りが進められている」ことを強調



福州・三坊七巷(福建省)
中央の南后街から延びる坊と巷の道沿いには、小さなギャラリーや高級感溢れる茶店も



福州・三坊七巷(福建省)
明・清代の里坊制度がそのまま残されている「生きた歴史の博物館」です

ツアー開発の新たなテーマに
中国国内では現在、交通網
や宿泊施設などのインフラ整
備をはじめ、中国全土の3万
カ所に清潔なトイレを作る
「トイレ革命」の取り組みも
進められており、中国国家観

しました。



平遥・南大街(山西省)
全長6.4キロの城壁に囲まれた平遥古城の中心から南北に街を貫
き、楼閣も聳えています



青州・昭徳古街(山東省)
シルクロード交易の商人が往来した街区には、イスラム寺院やキ
リスト教の教会もあります

東西800メートルのエリアが
明・清代の古民家によって埋め
尽くされ、中央の南后街から
西側に3つの坊と東側に7つの
巷が奥へと延びて、小さなギャ
ラリーや高級感の漂う茶店が
並んでおり、訪れる人々に中国
の新しい魅力を実感させてく
れる貴重な存在と言えます。

光局は「全域旅行」「全
域観光」を全国で提唱し
ています。
中国が国を挙げて観
光への取り組みを強化し
ている中、「中国歴史文
化名街」の展開は、中国
国内の世界自然遺産や
北京・上海をはじめ中国
観光の拠点となっている
ゲートウェイ都市との組
み合わせも含めて、中国
ツアーの開発・企画を行
う上で、新たなテーマや
切り口のヒントを与えて
くれるものでもありそ
うです。
例えば、「中国歴史文
化名街」10街区の二つに
選ばれた福建省福州市の
「三坊七巷」は、明・清代
の里坊制度がそのまま
残る「生きた歴史の博物
館」と言われています。
南北600メートル、



黄山・屯溪老街(安徽省)
石畳の道沿いに徽州式建築の商店が軒を連ねる約1.3キロに及び街区
は今も人気のエリアです



ラサ・八廓街(チベット自治区)
旧市街の中心部で大昭寺を囲むようにつくられたラサ市唯一の商店街で
す。伝統的な住居や建物が昔のままに保存されています。

海外旅行の復活には、中国へ
の旅行需要喚起が不可欠と言
われる中、中国旅行新時代への
観光素材として「歴史文化名
街」を活用した積極的な商品
開発が待たれると見られます。

中国国家観光局 駐日本代表処